

青 構 号 外
令和6年6月20日

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和6年度あおもり農業グローバルチャレンジ（提案型海外研修）
企画競技会の審査結果について

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった8チーム（学生部門7チーム、農業者部門1チーム）によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和6年6月10日に開催し、審査した結果、下記のとおり5チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

| 部門 | 学校・チーム名 | 渡航先 | 研修の概要 |
|-----------|--|-------------------------------|---|
| 学生 部門 | 五所川原農林高等学校 (オセアニアチーム) | オーストラリア ニュージーランド (1月下旬) | 持続可能な農業や生産性向上を目指し、スマート農業やりんご高密度植栽培、DXなど新技術の調査を行う。 |
| | 柏木農業高等学校 (Rice promotion department 2024) | シンガポール マレーシア (1月上中旬) | 米の需要や輸出拡大に向け、日本食レストランや精米施設の調査、柏農商品の販売活動等を行う。 |
| | 三本木農業恵拓高等学校 (農業活性化 Laboratory) | オランダ (10月上旬) | 世界基準の農業経営を目指し、スマート農業、輸出販売戦略、有機栽培等の調査を行う。 |
| | 営農大学校 (Team.Aot (Aomori organic tomato)) | オランダ (10月上旬) | 就農後の高い収益性と安定生産を目指し、スマート農業やブランド化、消費動向等の調査を行う。 |
| 農業者 部門 | Ventures ※中南地域の2農業法人によるチーム | ニュージーランド シンガポール (1月下旬) | りんごの生産性向上や経営発展に向け、大規模農園や最新技術の研究、市場戦略等の調査を行う。 |

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和6年6月10日（月）13時30分～15時30分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 5階 「白鳥」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5名（農業関係団体、青森県）

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～10人程度）する。

採択されたチームは、令和6年8月から令和7年2月末までの間に海外研修を実施する。

| 部門 | 支援の割合 | 支援額の上限（1チーム当たり） |
|-------|----------|------------------------------------|
| 学生部門 | 10/10 程度 | 欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度 |
| 農業者部門 | 1/2 程度 | 欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度 |

| 報道機関用提供資料 | |
|-----------|----------------------------|
| 担当課 | 農林水産部構造政策課 |
| 担当者 | 担い手育成グループ GM 三浦 孝文 |
| 電話番号 | 直通 017-734-9463 内線 5057 |
| 報道監 | 農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967） |